

Ⅲ. 続発性骨粗鬆症の診断, 治療

1. 疾患関連骨粗鬆症

③ その他の生活習慣病に合併する骨粗鬆症

Osteoporosis associated with other life-style related diseases

岡崎 亮

Ryo Okazaki(教授) / 帝京大学ちば総合医療センター第三内科

糖尿病, CKD以外の生活習慣病にも高率に骨粗鬆症が合併する。なかでも, COPDは男性骨粗鬆症の原因として重要である。COPD自身, 診断率が低いが, COPD患者の半数以上に認められる骨粗鬆症の認知率はさらに低い。骨折連鎖とCOPD増悪の悪循環も強く想定され, COPD合併骨粗鬆症の認知度の向上と早期からの治療介入が急務である。一方, 高血圧症は日本人成人の半数以上に合併が認められる頻度の高い病態であるが, 骨粗鬆症との関連が近年ほぼ明らかとなった。さらに, 閉塞性睡眠時無呼吸症候群, 睡眠障害と骨粗鬆症の関連も最近明らかになっている。

key words

慢性閉塞性肺疾患(chronic obstructive pulmonary disease : COPD)
高血圧症
閉塞性睡眠時無呼吸症候群
睡眠障害
動脈硬化

はじめに

糖尿病, CKD以外の生活習慣病にも高率に骨粗鬆症が合併する。本稿では, そのうち, 慢性閉塞性肺疾患 (chronic obstructive pulmonary disease : COPD) と高血圧症について概説する。

慢性閉塞性肺疾患 (chronic obstructive pulmonary disease : COPD)

COPDは, タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸曝露することで生じる肺の炎症性疾患であり, 慢性の咳や痰, 労作時の呼吸困難など, 進行性の気流閉塞に伴う呼吸器症状を特徴とする。しかし, 近年, 虚血性心疾患やサルコ

ペニアなど, 肺以外にもさまざまな疾患を合併する全身性疾患であると認識されるようになった。骨粗鬆症もまた, COPDの代表的な合併症の一つである¹⁾²⁾。COPDの有病率は増加の一途を辿り, 2011年のWHOの調査では全世界の死因の第4位, 日本においても死因の第9位, 男性では7位と上位に位置付けられている。わが国での疫学調査ではCOPDの有病率は8.6%であるが, そのうちすでにCOPDと診断されていたのは9.4%に過ぎず, 有病率の高さと診断率の低さが問題視されている。今後COPD関連骨粗鬆症は増加することが予想される。骨粗鬆症による椎体骨折や肋骨骨折はさらなる呼吸機能およびADLの低下をもたらす可能性があり, 早期からの適切な治療介入が重要である。

1. COPDにおける 骨粗鬆症の合併率

COPDへの骨粗鬆症の合併は9~69%と幅広い数字が報告されている³⁾。米国の骨粗鬆症専門クリニックの検討によると, 男性続発性骨粗鬆症の原因のトップはCOPDであり, 頻度はステロイド使用や性腺機能低下症を上回る⁴⁾ (図1)。

英国の疫学的検討⁵⁾では, COPDの骨粗鬆症性骨折のオッズ比は1.61, デンマークの検討⁶⁾では全骨折のオッズ比が1.89と報告されている。

COPD症例を対象とした椎体骨折の検討では, 24~63%に椎体骨折が認められるが, COPDにおける椎体骨折では胸椎骨折の多いことが特徴とされている。米国の50歳以上のCOPD男性312